

# 再生エネが世界の水危機を救う？

2014年 3月21日  
朝日新聞

再生可能エネルギーで水危機を救え——。国連は21日に発表した「世界水発展報告書2014」でこんな提案をした。人口増で将来、世界的な水不足が心配されている。大量の水を使う火力発電より、太陽光や地熱発電などを増やして水を節約しようと考えた。

報告書によると、現在70億人の世界人口は、50年には93億人に増える。水のニーズも55%増え、世界の4割以上の人々が深刻な水不足に直面する恐れがある。

妙案はないかと、エネルギー分野に注目した。世界の電力の7割を占める火力発電は、設備を冷や

## 国連「太陽光や地熱で節水」

すのに大量の水を使う。これだけで欧米では域内全体の取水量の4〜5割、中国でも1割以上を占める。再生可能エネルギーによる発電はあまり水を使わないので「最も持続可能な選択」とした。

ただ、普及には壁もある。太陽光や風力は発電が天候に左右される。水力はダムにためた水で何度も発電できるが、環境破壊や住民の反対もありえる。最大のネックは、お金。11年の各国による再生エネルギーへの資金支援は、計880億ドル（約9兆円）。国際社会や政府の支援の「劇的な増加が必要だ」としている。（小暮哲夫）